

一 哲 学 会 報

一橋大学哲学・社会思想学会会報 No. 29
(「研究会便り」より通算第57号)

発行者 一橋大学哲学・社会思想学会
発行所 一橋大学哲学・社会思想学会事務局 tel./fax 042-580-8644
〒186-8601 国立市 中2-1 一橋大学社会思想共同研究室
Email: phil6h.kaorun@r.hit-u.ac.jp

URL: http://www.soc.hit-u.ac.jp/~soc_thought/conference.htm

第24回一橋大学哲学・社会思想学会

【日 時】 2018年12月1日(土) 10:00 開場

【場 所】 職員集会所 大広間(西キャンパス)

【個人研究発表】

10:30~12:00 村山 正碩(本学社会学研究科) 司会 井頭 昌彦(一橋大学教授)
「画像における情動表出の多様性」

13:00~14:30 岩井 洋子(本学社会学研究科) 司会 井頭 昌彦
「田辺元の国家論と同時代の国家論
—国家法人説、国家有機体説、国体国家論との比較—」

14:40~16:10 淵田 仁(本学社会学研究科ジュニアフェロー)
司会 森村 敏己(一橋大学教授)
「18世紀フランス経験主義における「事実」の理論的地位について」

【マルクス生誕200年記念企画】

16:20~18:10 「物象化のもとでの「普遍的資産」と所有権原理
—ヘーゲル・マルクス関係の一考察—」

明石 英人(駒沢大学経済学部准教授)
司会 島崎 隆(一橋大学名誉教授)
特定質問者 菊地 賢(本学社会学研究科)
久富 峻介(本学社会学研究科)

18:20~19:50 研究懇話会

目次

第24回大会案内	1
個人研究発表要旨	
村山正碩	2
岩井洋子	3
淵田仁	4
マルクス生誕200年記念企画発表要旨	
明石英人	4
2018年夏大会資料	
シンポジウム総括	6
発表のまとめ（横山陸）	7